



**OCHIホールディングス株式会社**

2026年3月期

# **決算補足説明資料**

2026年6月15日

# 目次

- 2026年3月期 決算概況
- 2027年3月期 業績予想
- 会社概要
- 各種取り組み
- 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

# 2026年3月期 決算概況

## 売上高

**120,432**百万円

前期比 **+3,348**百万円

(**+2.9%**)

当社グループの主なターゲットである持家・分譲戸建住宅の住宅着工減少の影響が継続する中、前期実施のM&A効果もありエンジニアリング事業が大幅増収となり、売上高は前期比2.9%増を確保。

		前期比
建材事業	↓	▲2.9%
加工事業	↑	+6.3%
環境アメニティ事業	↓	▲1.8%
エンジニアリング事業	↑	+48.7%
その他	↑	+18.3%

## 営業利益

**1,669**百万円

前期比 **+198**百万円

(**+13.5%**)

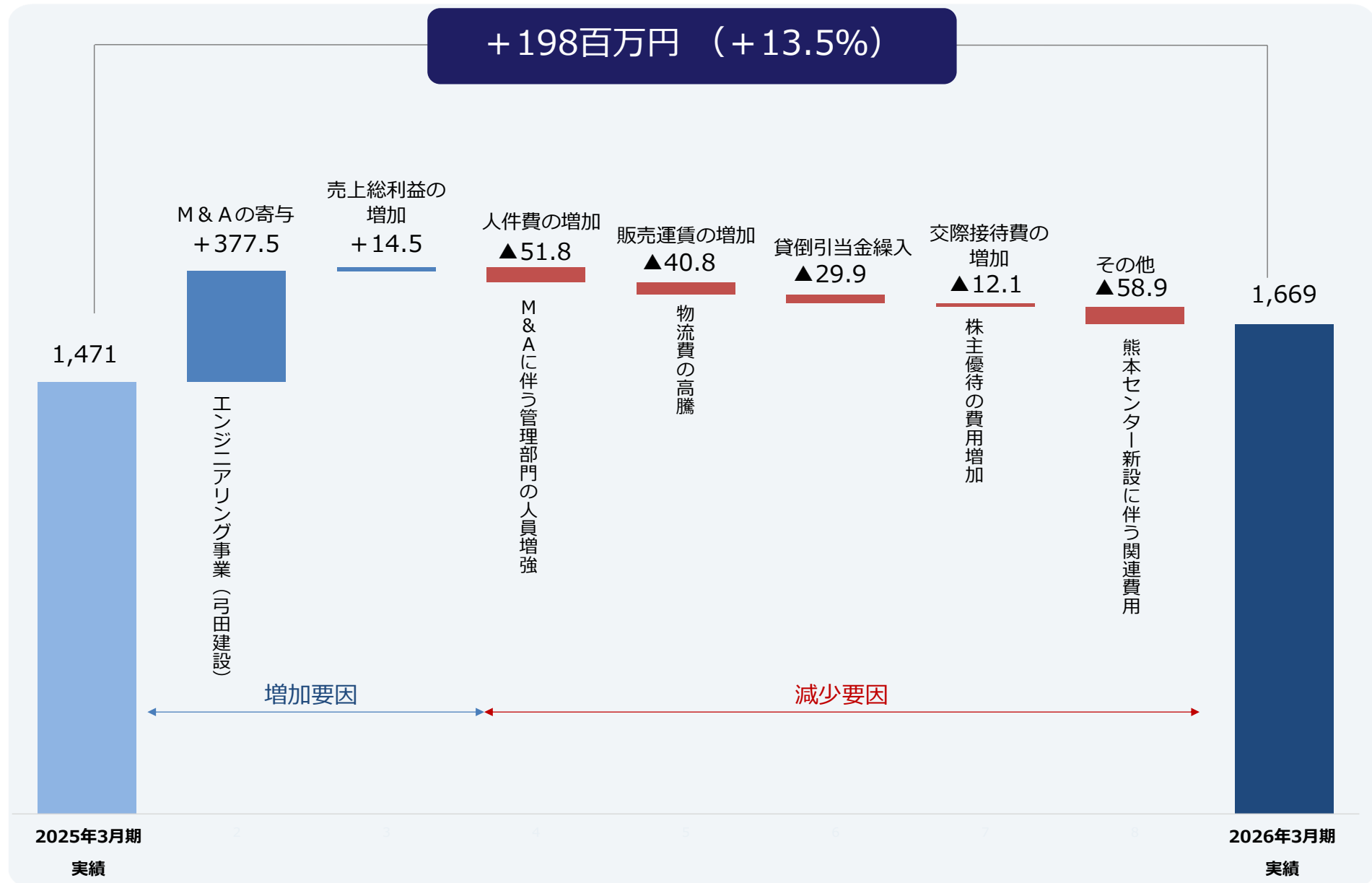
エンジニアリング事業の収益拡大により営業利益は前期比13.5%増。一方、M&Aによる寄与分を除けば既存事業ベースでは前期比11.0%減

		前期比
建材事業	↓	▲34.5%
加工事業	↓	▲17.0%
環境アメニティ事業	↓	▲1.9%
エンジニアリング事業	↑	+159.4%
その他	↑	+53.7%

# 営業利益増減要因 前期比

✓ 前期実施したM & Aの効果による増益

(単位:百万円)



# セグメント別 売上高



( )内は構成比  
< >は各セグメントの営業利益率

	2025年3月期	2026年3月期	増 減	
			(百万円)	(%)
売上高	117,084 (100.0%)	120,432 (100.0%)	+ 3,348	+ 2.9%
<b>建材事業</b>	72,934 (62.3%)	70,806 (58.8%)	▲ 2,128	▲ 2.9%
<b>加工事業</b>	14,152 (12.1%)	15,046 (12.5%)	+ 893	+ 6.3%
<b>環境アメニティ事業</b>	17,551 (15.0%)	17,237 (14.3%)	▲ 313	▲ 1.8%
<b>エンジニアリング事業</b>	9,541 (8.1%)	14,190 (11.8%)	+ 4,648	+ 48.7%
<b>その他</b>	3,605 (3.1%)	4,265 (3.5%)	+ 659	+ 18.3%
セグメント間調整	▲ 702	▲ 1,113	▲ 411	—

## <各セグメント状況>

### 建材事業

持家・分譲戸建住宅の着工戸数減少の影響により、減収

### 加工事業

介護施設や保育所等の非住宅物件への営業強化もあり、増収

### 環境アメニティ事業

北東北地区の売上の減少により、減収

### エンジニアリング事業

大型物件の完工に加え、2024年10月に子会社化した(株)弓田建設の業績が寄与し、大幅な増収

### その他

好調な自動車関連の販売に加え、2024年5月に子会社化した人材派遣業の(株)ヒット・イールの業績が寄与し、増収

# セグメント別 営業利益



( )内は構成比  
< >は各セグメントの営業利益率

	2025年3月期	2026年3月期	増 減	
営業利益	1,471 (1.3%)	1,669 (1.4%)	+ 198	+ 13.5%
<b>建材事業</b>	835 <1.1%>	546 <0.8%>	▲288	▲34.5%
<b>加工事業</b>	637 <4.5%>	528 <3.5%>	▲108	▲17.0%
<b>環境アメニティ事業</b>	309 <1.8%>	303 <1.8%>	▲5	▲1.9%
<b>エンジニアリング事業</b>	444 <4.7%>	1,152 <8.1%>	+ 708	+ 159.4%
<b>その他</b>	122 <3.4%>	188 <4.4%>	+ 65	+ 53.7%
セグメント間調整	▲877	▲1,050	▲173	—

## <各セグメント状況>

### 建材事業

持家・分譲戸建住宅の着工戸数減少の影響による売上減に加え、熊本センターの新設に伴う関連費用等の発生もあり、減益

### 加工事業

他社競合等による売上総利益率の低下と物流費の増加により、減益

### 環境アメニティ事業

売上高の減少により、減益

### エンジニアリング事業

売上高増加とM&Aの寄与により、大幅増益

### その他

売上高増加とM&Aの寄与により、増益

# 2027年3月期 業績予想

# 2027年3月期 業績予想



売上高、利益は前期並みを見込んでおりますが、中東情勢の混乱が長期化すれば住宅関連の市況低迷が懸念されます。

単位:百万円、( )内は構成比

	2026年3月期実績	2027年3月期		
		連結業績予想	増減	前期比
売上高	120,432 (100.0%)	125,000 (100.0%)	+4,456	+3.8%
営業利益	1,669 (1.4%)	1,850 (1.5%)	+180	+10.8%
経常利益	2,242 (1.9%)	2,350 (1.9%)	+107	+4.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,309 (1.1%)	1,310 (1.0%)	+0	+0.0%
R O E	5.4%	5.3%	▲0.1%	

# セグメント別 通期計画



( )内は構成比  
< >は各セグメントの営業利益率

	2026年3月期	2027年3月期計画	増 減	
			(百万円)	(%)
売上高	120,432 (100.0%)	125,000 (100.0%)	+4,567	+3.8%
<b>建材事業</b>	70,806 (58.8%)	74,518 (59.6%)	+3,712	+5.2%
<b>加工事業</b>	15,046 (12.5%)	16,232 (13.0%)	+1,186	+7.9%
<b>環境アメニティ事業</b>	17,237 (14.3%)	18,320 (14.7%)	+1,082	+6.3%
<b>エンジニアリング事業</b>	14,190 (11.8%)	14,586 (11.7%)	+396	+2.8%
<b>その他</b>	4,265 (3.5%)	4,571 (3.7%)	+306	+7.2%
セグメント間調整	▲1,113	▲3,229	▲2,116	—
営業利益	1,669 (1.4%)	1,850 (1.5%)	+180	+10.8%
<b>建材事業</b>	546 <0.8%>	936 <1.3%>	+389	+71.2%
<b>加工事業</b>	528 <3.5%>	689 <4.2%>	+160	+30.4%
<b>環境アメニティ事業</b>	303 <1.8%>	339 <1.9%>	+36	+12.0%
<b>エンジニアリング事業</b>	1,152 <8.1%>	937 <6.4%>	▲215	▲18.7%
<b>その他</b>	188 <4.4%>	219 <4.8%>	+30	+16.5%
セグメント間調整	▲1,050	▲1,272	▲221	—

# 会社概要

会社名	OCHIホールディングス株式会社
代表者	越智 通広
本社所在地	福岡市中央区那の津三丁目12番20号
創業	1955年5月18日
設立	2010年10月1日
資本金	4億円
業種別分類	卸売業
証券コード	3166 (東証スタンダード・福証)
銘柄略称	OCHI・HD
売買単位	100株
グループ会社	30社(2026年3月末現在)
グループ従業員数	1,742名(2026年3月末現在)

## パーパス

安全安心でサステナブルな(持続可能な)社会を創造する

## 基本方針

- ① 持続的成長に向けた事業ポートフォリオの変革
- ② 成長分野に注力した営業展開
- ③ 安定成長を支える経営基盤の確立

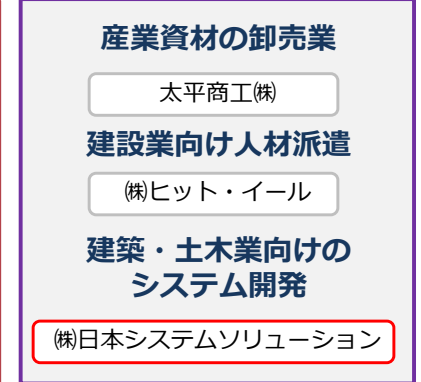
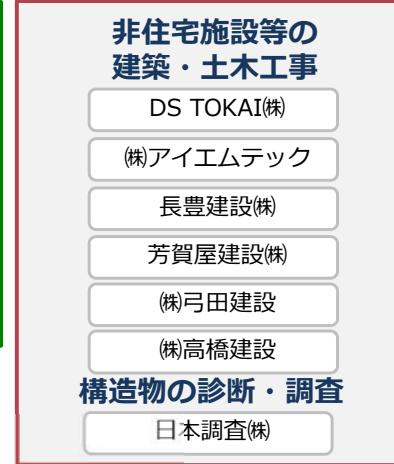
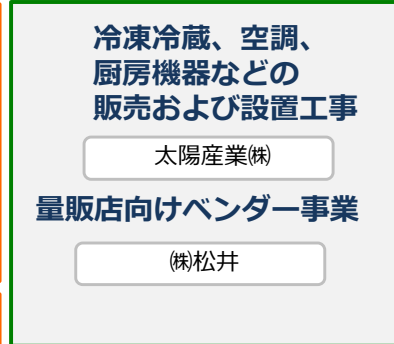
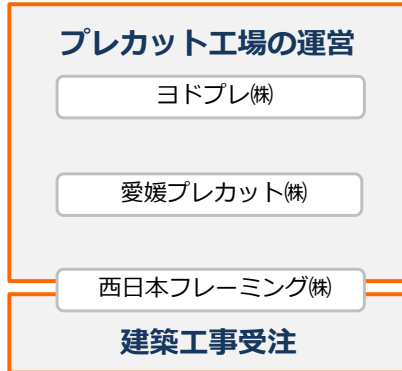
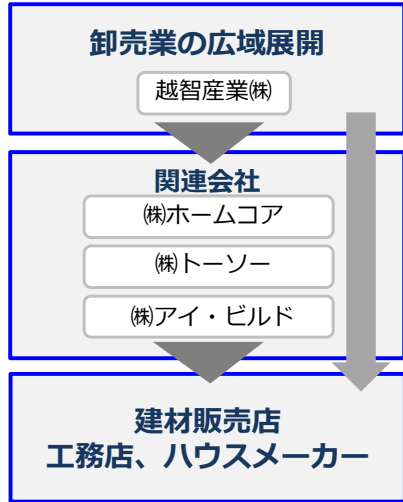
## 行動理念

積極

誠実

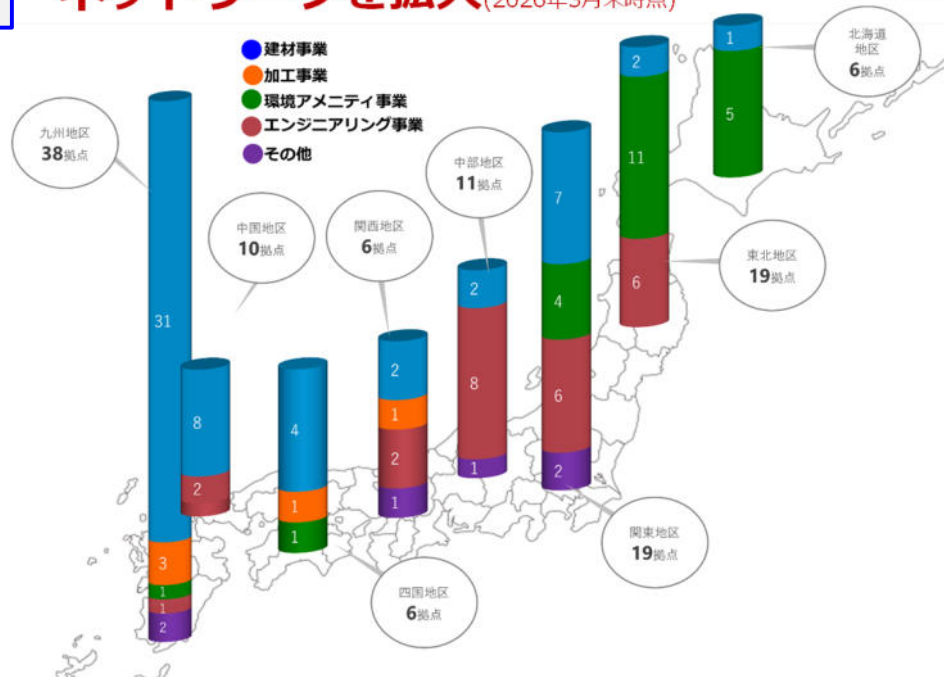
堅実

# 事業セグメントとグループ拠点

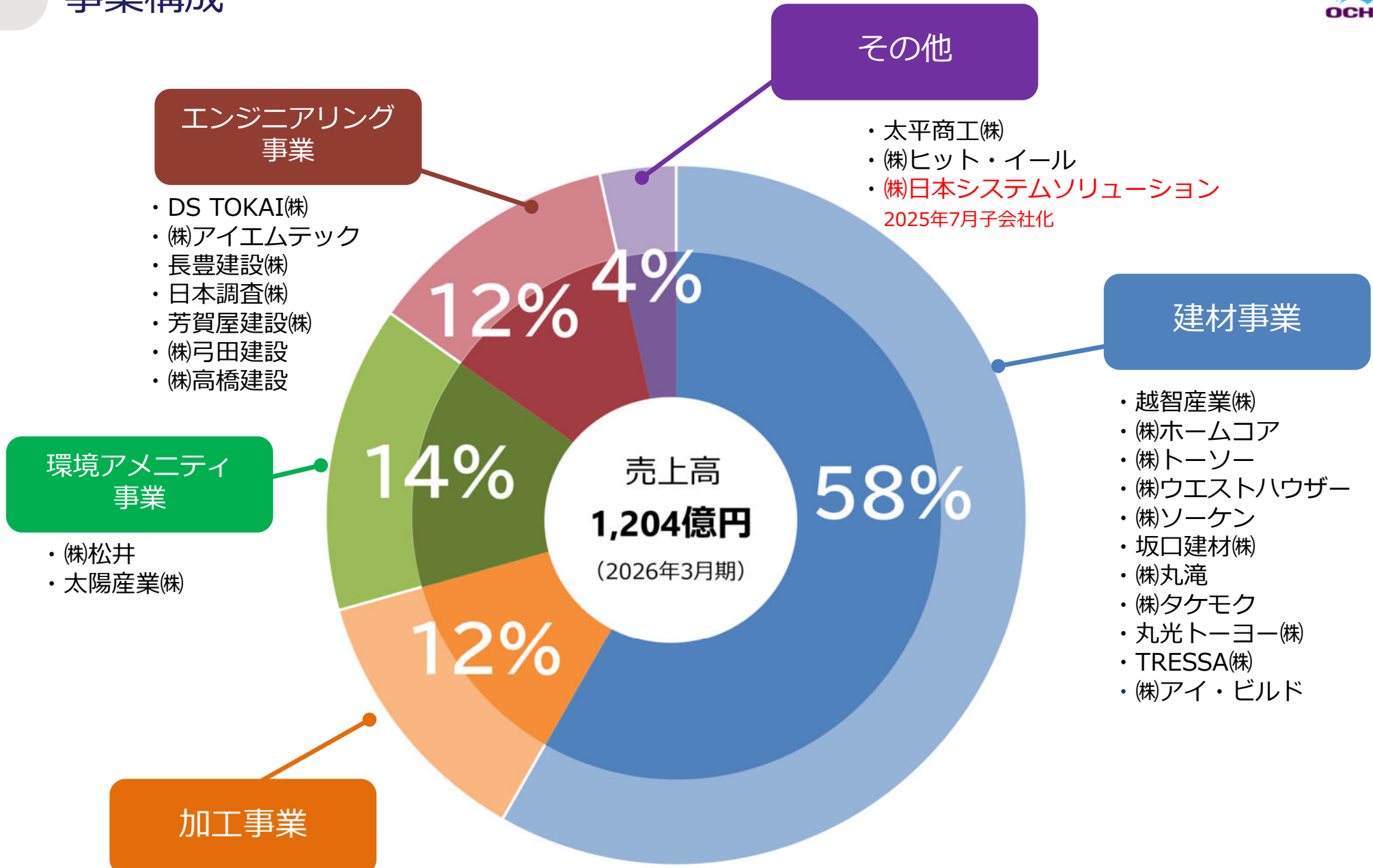


※赤枠は今期M&Aした会社

## 全国115拠点へグループのネットワークを拡大(2026年3月末時点)



# 事業構成



## エンジニアリング事業

- ・ DS TOKAI(株)
- ・ (株)アイエムテック
- ・ 長豊建設(株)
- ・ 日本調査(株)
- ・ 芳賀屋建設(株)
- ・ (株)弓田建設
- ・ (株)高橋建設

## 環境アメニティ事業

- ・ (株)松井
- ・ 太陽産業(株)

## 加工事業

- ・ 西日本フレーミング(株)
- ・ ヨドプレ(株)
- ・ 愛媛プレカット(株)

## その他

- ・ 太平商工(株)
- ・ (株)ヒット・イール
- ・ (株)日本システムソリューション  
2025年7月子会社化

## 建材事業

- ・ 越智産業(株)
- ・ (株)ホームコア
- ・ (株)トーソー
- ・ (株)ウエストハウザー
- ・ (株)ソーケン
- ・ 坂口建材(株)
- ・ (株)丸滝
- ・ (株)タケモク
- ・ 丸光トーヨー(株)
- ・ TRESSA(株)
- ・ (株)アイ・ビルド

# 各種取り組み

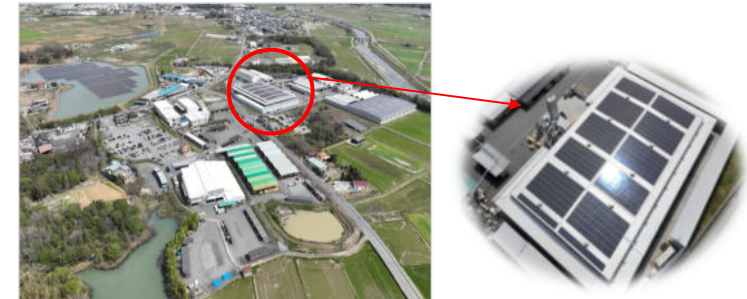
## 環境課題への取り組み

### 温室効果ガスの削減目標・削減への取り組み

OCHIグループの目標：GHG排出量30%削減（2021年度～2030年度）  
2020年度のCO2排出量：3,404 t - CO2（トンCO2換算）  
2025年度のCO2排出量：2,609 t - CO2（トンCO2換算） 23.3%削減

### 創エネルギー

- ・ヨドプレ(株) 2024年2月  
プレカット工場屋上へ自家消費型太陽光発電システム導入  
CO2削減量：182.7 t - CO2 /年
- ・越智産業(株)熊本センター 2025年5月  
自家消費型太陽光発電システム導入  
CO2削減量：18.47 t - CO2 /年



### OCHIグループの森

< 2023年10月～> 山口県  
伐採跡地への環境保全を目的とした  
森林を活かし続ける植林  
CO2吸収量：126.32 t - CO2 (5年間)



### CDP（気候変動質問書）への取り組み

英国の国際環境NGO CDP（旧カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト）  
による気候変動質問書への回答を2022年度より継続的に実施



## 人的資本への投資、人材育成支援

- 2023年6月「OCHIグループ人権方針」を制定
- 2024年3月人権方針に基づく社内環境整備のため、エンゲージメント調査を実施

### 人材育成の強化

- 充実した研修制度
  - 現場研修などを取り入れた新入社員研修
  - 1年目から3年目の社員に対するフォローアップ研修
  - 次世代リーダーの育成研修
  - eラーニング活用によるスキルアップ研修
  - 専門分野に特化した外部研修



### 健康経営の実施

- ワークライフバランスの実現に向けた取り組み
- メンタルヘルスケア
- 持株会・確定拠出年金制度による資産形成支援
- 育児中の社員が働きやすい環境作り（育児休暇、時短制度）
- 「越智産業(株)」「ヨドプレ(株)」「長豊建設(株)」「(株)弓田建設」「(株)高橋建設」の5社が、健康経営優良法人に認定

### 奨学金財団 公益財団法人 広智奨学会（こうちしょうがくかい）の設立

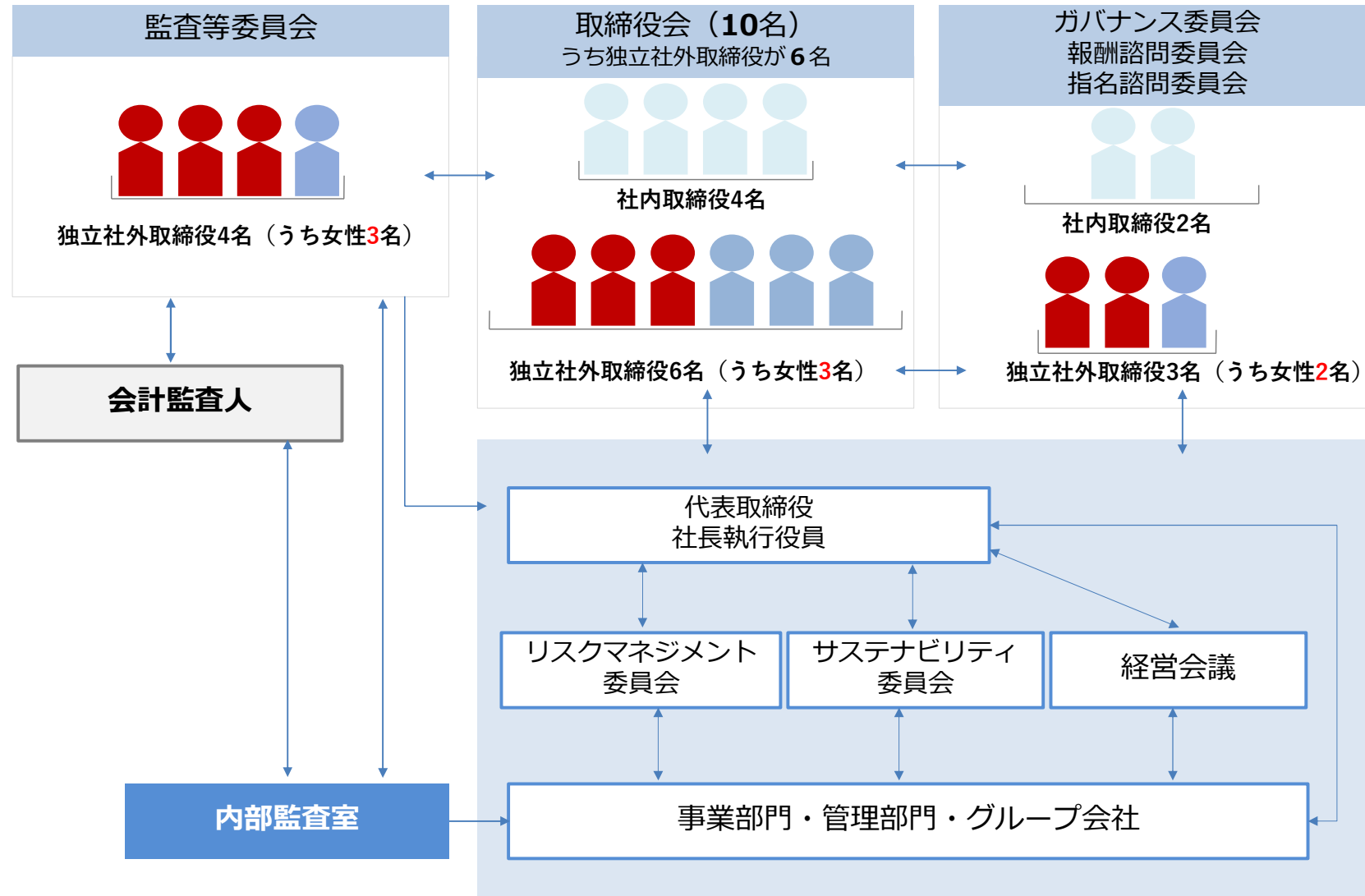
- これから社会に貢献し得る有為な人材育成と学問の奨励を図るための支援

設立	2022年3月
所在地	福岡市博多区店屋町3番22号
事業内容	大学で理工系学部学ぶ者に対する奨学金の支給
代表理事	橋本 堅次郎（日本文理大学 学長）
2025年度支援実績	奨学生 70名（うち新規採用 41名）

# コーポレートガバナンスの強化

より強固で透明性のある、ガバナンス体制を実現 (取締役のうち女性の比率30%)

## 運営体制



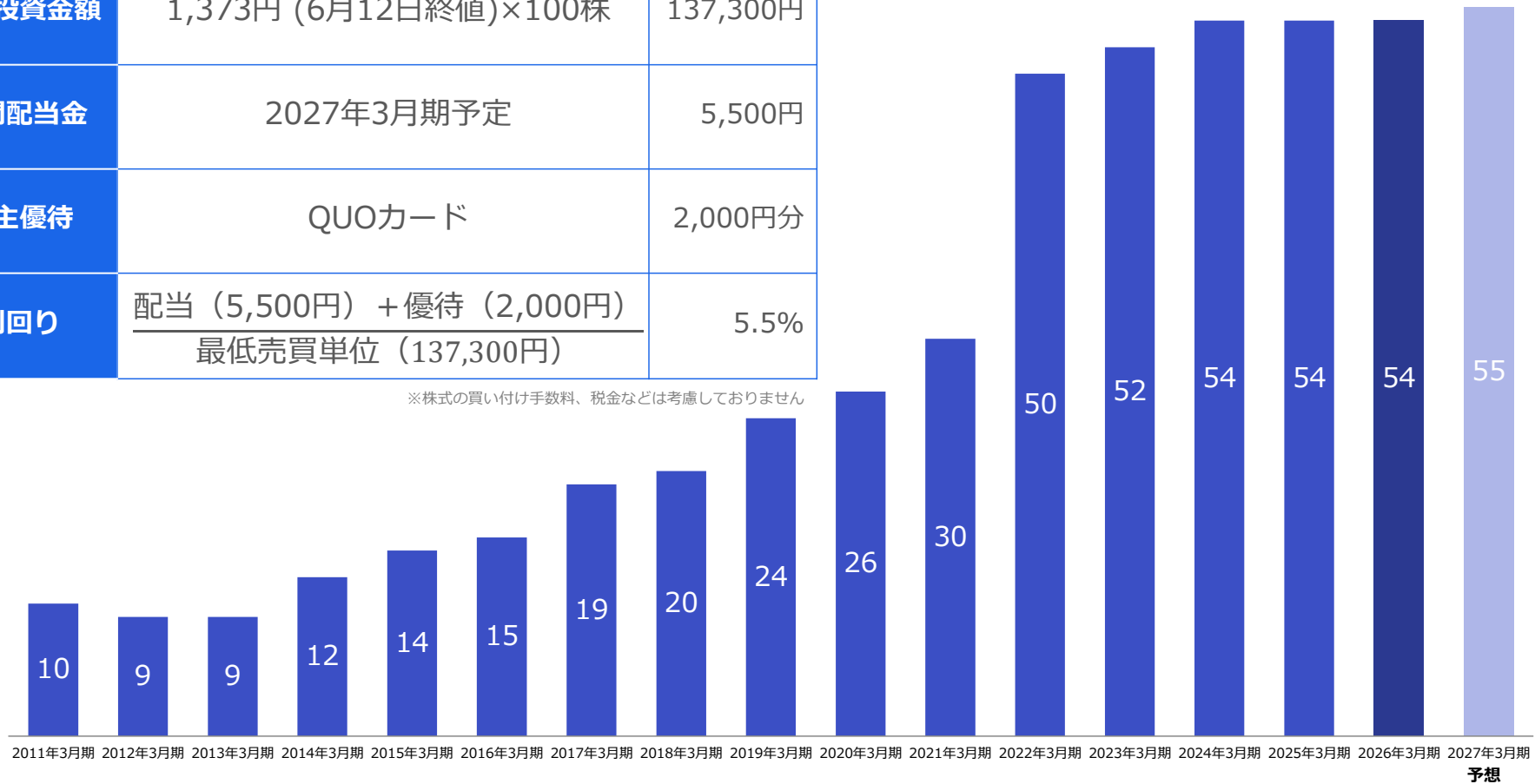
※2026年6月24日開催予定の定時株主総会および直後の取締役会にて決議予定

# 株主還元

配当方針：株主資本配当率（DOE）2.8%程度、または連結配当性向30%程度のいずれか高い方を選択

最低投資金額	1,373円 (6月12日終値)×100株	137,300円
年間配当金	2027年3月期予定	5,500円
株主優待	QUOカード	2,000円分
利回り	$\frac{\text{配当 (5,500円) + 優待 (2,000円)}}{\text{最低売買単位 (137,300円)}}$	5.5%

※株式の買い付け手数料、税金などは考慮していません

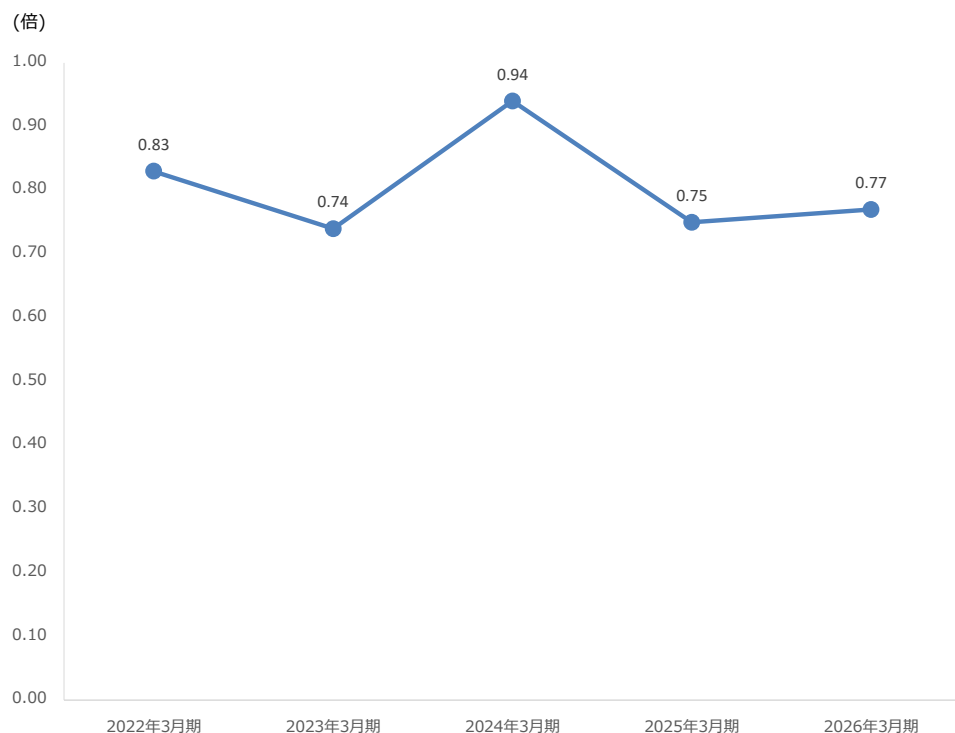


	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
DOE	0.9%	0.9%	1.1%	1.2%	1.9%	1.8%	2.1%	2.0%	2.3%	2.3%	2.4%	3.5%	3.2%	3.1%	3.0%	2.9%	
配当性向	7.9%	4.7%	6.2%	7.3%	16.9%	17.4%	18.4%	19.6%	22.9%	23.7%	21.8%	18.8%	27.0%	33.4%	67.4%	53.7%	
株数	100	120	180	180	270	270	270	270	270	270	270	270	270	270	270	270	
株式分割		1:1.2	1:1.5		1:1.5												

# 資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応

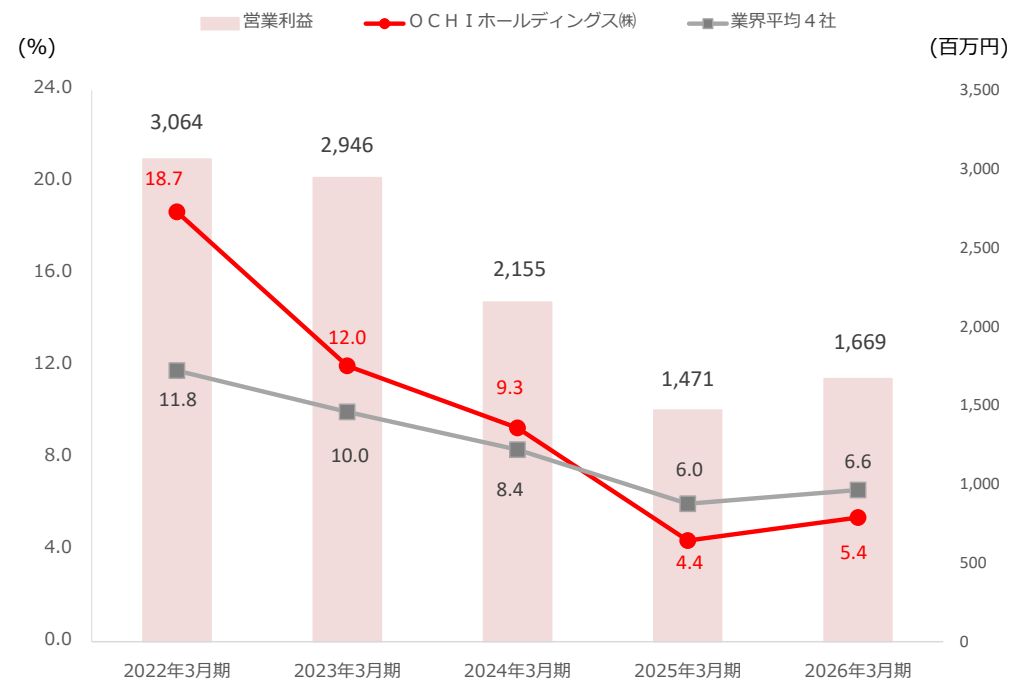
## PBR

- ・ PBRは、2022年3月期末以降 1倍割れ  
2025年3月期末 0.75倍から  
2026年3月期末は 0.77倍へ若干の改善



## ROE

- ・ ROEは、2022年3月期をピークに  
2025年3月期は 4.4%へ低下  
2026年3月期は 5.4%へやや上昇



## ① 資本収益性の向上

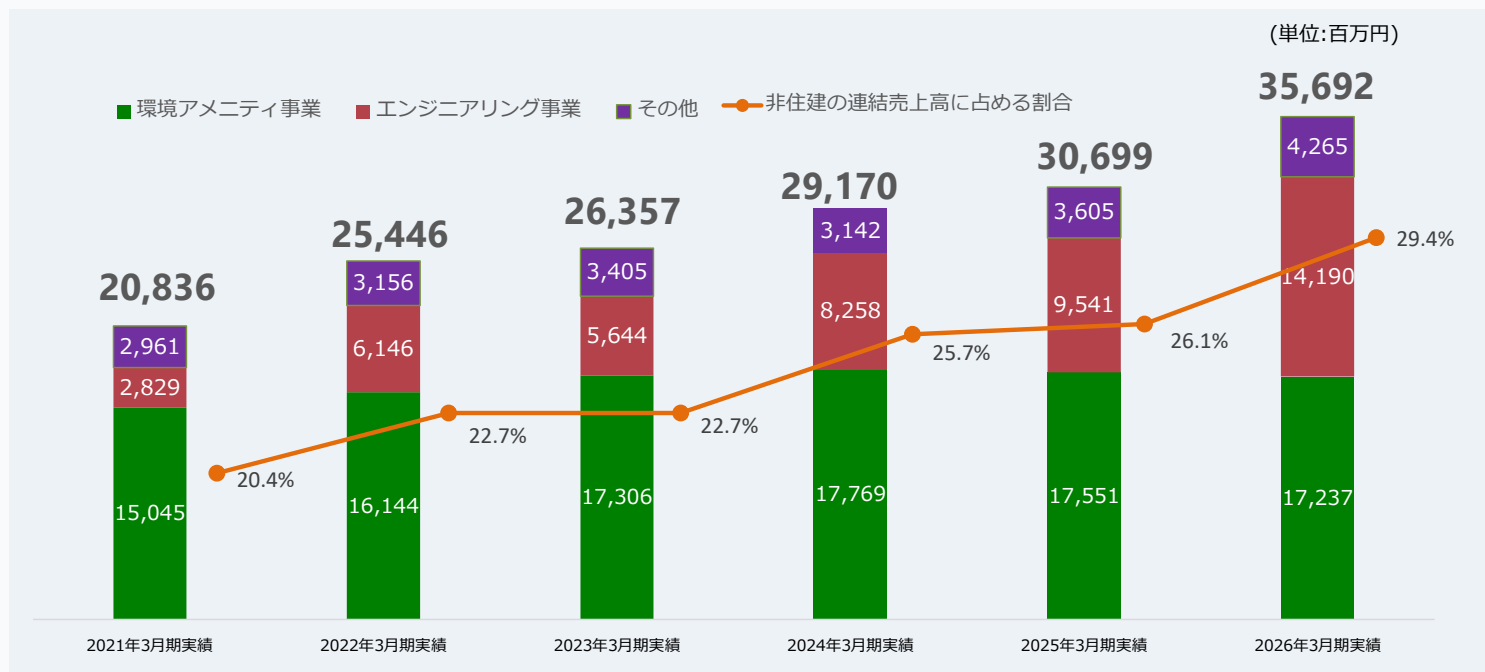
成長分野に注力した営業展開を推進するとともに、収益性を重視したM & Aを行い、連結での収益力の強化に努めていく

## ② 事業ポートフォリオの変革

非住建分野の売上高を上げるため、M & Aにより以下の会社を子会社化

- ・ 2024年5月 (株)ヒット・イール
- ・ 2024年10月 (株)弓田建設 (同社の子会社2社を含む)
- ・ 2025年7月 (株)日本システムソリューション

連結売上高に占める非住建分野の売上高の推移は以下のとおり



## ③株主還元の強化

安定的な配当の維持に努めることに加えて、連結業績を加味した配当を行なうことを基本方針とし、配当については、株主資本配当率（DOE）2.8%程度、または連結配当性向30%程度のいずれか高い方を選択するものとする

## ④当社株式の流動性の向上

当社株式の流通株式比率の推移

2022年3月期：25.5%、2023年3月期：32.5%、2024年3月期：33.8%、2025年3月期：35.6%、  
2026年3月期：34.6%

## ⑤ I R 活動の強化

- 投資家への情報発信
  - ・ 個人投資家向け説明会：2回 開催（2025年7月・12月）
- 英文開示
  - ・ 決算短信：4回（2025年5月・8月・11月、2026年2月）
  - ・ 決算説明資料：2回（2025年6月・12月）
  - ・ 株主総会招集通知：1回（2025年5月）

## ⑥ガバナンスの強化

2026年6月の株主総会にて、社内取締役4名、社外取締役6名を選任予定  
全取締役10名のうち、女性の取締役3名（女性比率30%）となる

## ⑦サステナビリティ

サステナビリティ委員会を設置し、グループでの温室効果ガス排出量の削減目標を2021年度～2030年度の10年間で30%削減に設定（2025年度実績は、23.3%削減）



# OCHIホールディングス株式会社

【 連絡先 】 OCHIホールディングス株式会社

【 本 社 】 福岡市中央区那の津三丁目12番20号

【 T E L 】 経営企画部 092-235-0601

財 務 部 092-235-0604

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれておりますが、これらは本資料作成時点において当社が入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は、経済情勢、市場動向、その他さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載された情報は、予告なく変更されることがあり、当社は本資料の内容を更新または改定する義務を負うものではありません。なお、本資料に掲載されている情報の著作権その他一切の権利は、OCHIホールディングス株式会社に帰属しております。当社の事前の書面による承諾なく、本資料の全部または一部を、電子的または機械的な方法を問わず、複製、転載、配布、転送その他の目的で利用することを禁止いたします。